

ビルオーナーの広場

HIROBA

高級スモールオフィス「WIND BASE」

日総ビルディング



営業部 マネージャー
工藤 準樹氏

3拠点目の横浜西口先月オープン

日総ビルディング（以下、横浜西口）が先月完成を迎え、29日（東京）日には内覧会を開催し都千代田した。

WIND BASEは、主に少数精鋭から今年春から展開する企業をオフィスとする高級スモールオフィス、立地、シンプルな料金プラン、上質なデザイン、4つの「WIND」側面から支援する。特にBA長はオフィスレンタル



居心地の良さやグレード、快適性も意識して室内デザインを構築した

SE」。3に開く煩わしさや無駄を削ぎ落した「ワンコスト・オフィス」。発生する費用は賃料のみ。更新料や別途発生するその他サービス料等も無い。契約期間は1年で、状況に応じて期間も柔軟に対応できる。既に「WIND BASE SHI NYOKOHAMA（新横浜）」、「WIND BASE SHI IROKANE（白金）」がオープン。白金はいわゆる「オフィス街」に出店するのでなく、日々の暮らしや職住近接に適した住宅街で開設。街・地域を好んで暮らす人やワーカー、イノベーターを対象に、カフェで一息つく・木陰で物思いに耽るといったオフィス街にはない感覚が育む空間を意識した。

横浜西口の開設も同様に地域のニーズを入

念に調査し、最適な機能性や環境を取り揃えた。現在、神奈川県の一事業所あたりの平均従業員数は12人。事業所数で見ると、横浜市は全国4位の事業所数の多さ。内、20人未満の事業所数が全体の87%を占める（経済センサスー活動調査平成28年経済センサスー活動調査事業所に関する集計産業横断的集計引）。横浜市は少人数での利用に適したオフィスの高需要が高い、という実態が見られる。

既に開設した拠点のテナントからは「小規模の企業でもクオリティの高いオフィスを構築されて嬉しい」と「お客様を呼ぶのに恥ずかしくない」といった声が多い。割安が魅力がある一方で、WIND BASEは高付加価値と成長サポートに特化した稀有な事例。

営業部 マネージャー 工藤準樹氏は「2〜9坪と多彩な区画を用意しました。設立から多少経過し、徐々に声が多い。割安が魅力がある一方で、WIND BASEは高付加価値と成長サポートに特化した稀有な事例。今後同社は拠点数の拡張に取り組む。



▲EVホールから見たエントランス